

## 入学手続時における初修外国語の履修手続について

2026 年度に入学手続を行う皆さんへ

2026 年度入学者より、入学手続において初修外国語として履修する外国語を選択する場合に必ず 2 言語を登録することになりました。これは、できるだけ多くの学生が希望する言語を履修できる状況を今後も確保しつづけるための変更です。初修外国語選択の際に、入学手続要領に記載されている 7 つの外国語から、履修を希望する言語を 2 つ選んでください。

初修外国語は、原則として 2 候補のうちいずれかが割り当てられます。教養学部としては、希望する言語を学ぶことを重視していますので、希望する外国語以外の言語に割り当てられることを過度に心配する必要はありません。ただし、履修希望に想定をはるかに上回る極端な偏りが発生した場合などに、2 候補以外に割り当てられる可能性を完全に排除することができないことには念のためご留意ください。

なお、教養学部前期課程では、初修外国語のほかに、選択科目としても外国語を学ぶことができます。英語ならびに初修外国語として提供される 7 つの外国語を含む数多くの言語を学ぶことができますので、ぜひその機会を積極的に活用してください。

外国語の学修を通じて、皆さんの世界が大きく広がることを願っています。

東京大学教養学部